

愛経協発第 152 号

平成 22 年 9 月 1 日

会 員 各 位

愛知県経営者協会

会長 山田 隆 哉

新卒者の採用に関するご協力方お願い

平素は本会の活動に格別のご協力、ご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、ようやく回復の兆しが現れてきた日本経済も、最近の米国経済の低迷や円高、株安により、再び悪化の懸念が出てきております。会員各位におかれましても、経営の立て直しにご苦勞されておられることと拝察しております。

このような景気の不透明感を反映して、新卒学生の就職は非常に深刻な状況となっております。来年 3 月卒の中学・高校・大学の新卒者に対する求人は昨年以上に減少し、このままでは学校を卒業しても安定した職業に就けない若者が多数出てしまう状況にあります。

このたび、熊谷愛知労働局長、神田愛知県知事、今井愛知県教育長、河村名古屋市長、伊藤名古屋市教育長より、本会に対し来春卒業予定者の採用に関する協力要請がございました。

厳しい経済情勢の中、また本年の採用活動を終了されたところもあろうかと存じますが、若く優秀な人材を確保する良い機会でもあります。会員各位におかれましては趣旨をご理解いただき、来春卒業予定者の採用について、格別のご高配を賜わりますよう、ご協力方をお願い申し上げます。

事業主の皆様へ

～ 1人でも多くの新規学卒者等の採用を御検討ください～

厳しい経済環境の中、平成23年3月の新規学卒者に対する求人状況(7月末)は、中学校、高等学校、短期大学・大学等すべての区分において、求人数が前年を下回るなど、新規学卒者を取り巻く就職環境はさらに深刻さが増しております。

このままでは、就職を希望する生徒・学生の職業選択の幅が著しく狭められ、就職先が決まらないまま卒業を迎える方が相当数発生する事態になりかねません。

また、今春の卒業者の中にも、就職が未だ決まっていない方、一旦就職したものの離職された方など、現在も多くの若者が仕事を探しています。

こうした就職環境を御賢察いただき、1人でも多くの新規学卒者等の採用を御検討くださるようお願いいたします。

将来を担う若い優秀な人材を確保するチャンスです。
ぜひ、新規学卒者の求人枠の確保・拡大を御検討ください。

中学校・高等学校の生徒の採用選考過程が長期化する傾向にあります。生徒は大変不安な気持ちで結果を待つこととなりますので、できるだけ早い時期に結論をだしていただきますようお願いいたします。

既卒者に対して、中途採用機会の増大、通年採用の導入等多様な採用形態を実施・検討して下さるようお願いいたします。

平成22年8月

愛知労働局・愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会

要請文 本文

謹啓 残暑の候ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

愛知県における労働及び教育施策の推進につきましては、日ごろから格別の御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、一昨年秋以降の急激な景気の悪化により、新規学校卒業予定者の就職に関して大変厳しい状況が続く中、昨年度におきまして、たびたび求人確保のお願いを申し上げたところ、貴台におかれましては格別の御協力を賜りましたことを、まずは衷心よりお礼申し上げます。おかげをもちまして、平成22年3月末現在の高等学校卒業者の就職決定率は、前年を0.6ポイント下回る、98.1パーセントまでこぎつけることができました。

しかしながら、県内の大学の就職率が91.1パーセント、対前年比5.5ポイント減と、愛知県が平成6年度から調査を開始して以降最大の下げ幅を記録いたしました。さらに、就職が決まらなかったため、進学へと進路変更した高校生や就職留年という道を選んだ大学生もいるとの話も聞いており、昨年度の状況は、数字に現れている以上の厳しい結果となったものと受け止めております。

今年度も、6月21日から、平成23年3月の新規中学校・高等学校卒業予定者の求人票の受付が各八ローワークで始まっておりますが、中学校・高等学校ともに求人数が対前年同期比約1割減、さらに、愛知学生職業センターが受理した大学・短大卒等の求人数も、4月から7月までの累計で前年同期比の約2割減となるなど、緊急事態と認識した昨年を超える厳しい状況となっております。

こうした就職環境の厳しさの背景には、多くの企業において、景気の先行きを見極めつつ、慎重な姿勢をとっておられることなどが要因としてあると考えております。

このままでは、来春の就職を希望する生徒・学生の職業選択の幅が著しく狭められ、就職先が決まらないまま卒業を迎える方が相当数発生する事態となりかねません。また、特別支援学校卒業予定者については、求人はもとより就職に向けた職場実習の受入事業者の確保にも困難をきたす状況となっております。

こうしたなか、労働行政と教育行政関係者がより一層連携し、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学、大学等の新規学校卒業予定者の安定した雇用の確保を図るため、きめ細かな就職面接会・企業説明会の開催など就職支援策の充実に努め、一人でも多くの新規学校卒業予定者の就職が実現するよう全力を挙げてまいり所存です。

貴台におかれましては、県内事業所を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況にあるものとは存じますが、こうした就職環境を御賢察いただき、新規学校卒業予定者の求人枠の確保・拡大を図っていただきますよう、傘下団体・事業主の皆様方に御周知くださいますようお願い申し上げます。

また、新規中学校卒業予定者につきましては、平成23年1月20日に一斉選考を、新規高等学校卒業予定者につきましては、平成22年11月30日までは「一人一社制」のもと、9月16日以降に選考開始する予定となっておりますが、昨年度、選考過程が長期化し、なかなか採用・不採用の結果をいただけなかったとの声もございました。生徒は大変不安な気持ちで採用結果を待っております。こうした不安をできるだけ早く解消し、また、残念ながら不採用となった場合に就職意欲が高いうちの再チャレンジを可能とするよう、できるだけ早い時期に結論を出していただきますよう、この旨も併せて御周知くださるようお願い申し上げます。

在学中の方のみならず、就職が決まらないまま卒業された方、一旦就職した後離職された方など、現在も、多くの方が仕事を探しておられます。新たに社会に出ようとする若者が、その入り口で躓^{つまづ}くことなく将来への希望を失うことのないよう地域を挙げて支援することが、社会全体の活力を維持していく観点からも重要と考えておりますので、傘下団体及び事業主の皆様に対しまして、中途採用機会の増大、通年採用の導入等多様な採用形態についても弾力的にお考えいただき、将来を担う若い優秀な人材を一人でも多く採用していただけますよう、格別の御指導、御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

平成22年8月25日

愛知県経営者協会

会長 山田 隆哉 様

愛知労働局長	熊谷 毅
愛知県知事	神田 真秋
愛知県教育長	今井 秀明
名古屋市長	河村 たかし
名古屋市教育長	伊藤 彰